

社団法人 埼玉私保連



# 広報

No.111  
H23. 7. 31  
発行



～「遊ぶの?」「食べるの!」～

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

# 埼玉県私立保育園連盟 第三七回 定期総会

二〇一一年五月一七日、埼玉会館7B会議室において埼玉県私立保育園連盟第三七回定期総会が開催されました。総会では遠藤副会長による開会の辞の後、森田会長及びご来賓挨拶があり、議長・書記等が任命されました。事務局長より加盟二〇〇園中、出席五四園、委任状九一園、過半数を超えたため総会成立が宣言され議案に入りました。



## 第一号議案

### 二〇一〇年度活動報告

先ず森田会長より、保育業界の全体的な動きとして、幼保一元化に代表される保育制度の改訂と、地方分権及び保育財政と社会保障財政の危機を、大きな課題として活動に取り組んできたが、今後も制度要求及び予算活動は必要となるだろうと報告されました。次いで、予対部、研修部、広報部、組織部、調査部、青年会議及び事業部の各部長から二〇一〇年度の活動報告がなされ、異議なく承認されました。

## 第二号議案

### 二〇一〇年度決算報告

## 第三号議案

### 二〇一〇年度監査報告

村山財務部長から埼玉県私保連の二〇一〇年度決算が報告された後、梅沢監事から監査報告がなされ、異議なく承認されました。また、全国大会「埼玉大会」の決算状況も報告されました。



## 第四号議案 役員改選

連盟役員の交代があったため、新任・重任の役員及び部員が紹介され、全員異議なく承認されました。

## 第五号議案

### 二〇一一年度活動計画

会長より二〇一一年度活動計画として、年度目標及び保育制度の改訂に対する問題点と連盟の基本活動計画が報告され、次

いで予対部、研修部、広報部、組織部、調査部、青年会議及び事業部から各部における計画が報告され、異議なく承認されました。

## 第六号議案 二〇一一年度予算

埼玉県私保連の二〇一一年度予算が説明され、異議なく承認されました。

最後に水上副会長が挨拶、閉会の辞を述べ定期総会は滞りなく終了しました。



# 研修報告 「保育園の防災と危機管理」

## ～東北地方の大地震から学ぶ～

日時…二〇一一年五月一七日(火) 14時30分～16時45分

場所…埼玉会館 7B会議室

講師…脇 貴志氏 (株式会社アイギス代表取締役)

埼玉県私立保育園連盟定期総会後、同会場にて「保育園の防災と危機管理」研修会が開かれましたので、以下、概要を報告します。

### 保育園内での事故

保育園の事故には必ず原因があり、加害者となった保育士は生涯事故の責任を負って生きていくこととなる。保育園には保育士が安全に働けるようにする義務があり、国がその基準を作らない以上自分達で基準をつくる必要がある。

### 東日本大震災から

① ハザードマップを信用し過ぎないー人間の予想を上回る災

害は必ずある

② 常にベストを尽くすーどこに避難することがベストかを考える

③ 率先避難者となるー各々が判断して避難する

保育士には常に人の命を背負うという負荷がかかっている。地震対策が必要である。個人の能力には差があるので、誰でもできる様な環境を整えることが大事である。

### 危機管理

保育士の判断が子どもの生死を分けることとなるため、想定外で人を死に導かないよう、危機管理能力を育てる。人材育成も地震対策といえる。



リーダーシップとは①状況判断のできる人、②物事に優先順位をつけられる人、③決断できる人。

危機に面した際に必要なものは損害賠償能力と危機対応能力であり、「事故」自体よりは発生した事故に対する対応が問われることとなる。

### 子ども子育て新システム

どさくさの中で進められている新システムだが、導入されると安全管理ができない園は利用者から選ばれなくなる。欧米では安全管理にかける投資は一般

的になされているが、日本では軽視されがちである。それでも保育所は人を守らねばならず、求められる危機管理の法則は①科学的である、②現場に負担をかけない、③対象は保育士、の三点である。

### その他

- ・ 子どもの死亡は就寝中が多い。
- ・ 防犯カメラは不審者対策にはならない。
- ・ 保育士と子どもの安全距離を常に意識する。
- ・ 時期的に熱中症対策が重要。



# 施設訪問こんにちは

訪問先（北本市）

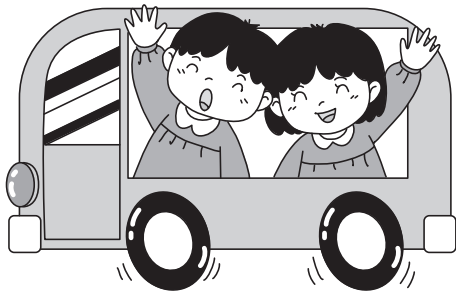
## 中丸保育園

園長 新島 ちえ美 先生



中丸保育園は北本市を通る旧中仙道沿いにあり、改築直後の清潔な園舎と保育農園を含めた広大な敷地が特徴的です。昭和56年に定員60名で開設され、平成23年現在、新園舎完成とともに定員100名となっています。

新しい保育園舎は木造でフロアリングが施され、全室床暖房、そして机、椅子、棚等の保育用品も木製を基調とした暖かい雰囲気満たされています。内壁面やテラスの支柱には無垢材が使用されており、鮮やかな木目が映えた綺麗な表面ですが、数年後、数十年後には落ち着いた木造特有の飴色への変化が期待できます。



もう一つの特徴である園庭は、広いフラットスペースを囲んで自然の雑木が残され、種々の遊具が配置され、子どもたちが思いっきり身体を動かすための工夫と配慮が伺えます。また、園内の農園では、キュウリ、ピーマン、ナス、トマト等を始めとする夏野菜が実をつけ、その他には、玉ネギ、ジャガイモ、イチゴ、ニンジン、ホウレン草、モロヘイヤ、野フキ、スイカ、さつまい芋、キャベツ、小松菜等の数十種類の野菜や、ミカン、



柿、ブドウ、リンゴ、イチジク等の果樹が植えられていました。訪問時にはちょうど子どもたちが夏野菜の収穫を行なっており、また、稲作りを行なうための苗代が準備されていました。これ等は給食で使用されるそうです。中丸保育園の保育目標には、「健康でねばり強い子・仲間を大切にできる子・自立できる子・考える子・本物のわかる子」を育てることが挙げられています。これらの中で「本物のわかる子」を目標に掲げる園は珍しいと思

い、園長先生にお尋ねしたところ、「乳幼児期の子ども達にこそ、いわゆる子ども騙しではなく本物に触れさせるため自然の素材で整備されたインフラで活動し、自家製の野菜などを育て食することで自然の食材を知り、また、伝統行事や伝統文化を大切にすることを養って欲しい」との望みから保育目標の一つに挙げたそうです。その実践として特に重視されているのが、食生活を中心に据えた保育であるとの印象を受けました。種々の野



菜や果物を、子どもたち自身が育て、収穫し、それらを調理・食事することにより、生命を慈しむ心を育て、自然の恵みを実感し、栄養に関する興味を持たせることができるでしょう。その他にも、労働を知り、季節を知り、生物を知り、忍耐を知り、そして何より本物の味を知ることができるといえます。一般的に、幼少期には本能で苦味を忌避するといわれていますが、自分で作ったピーマンやフキノオウゴンなども達は喜んで食べるでしょう。給食では素材の食味や風味を損ねないよう、味付けは薄味で統一され、ほとんどの児童は野菜を完食していました。



また、中丸保育園では年長児に対して、園長先生自ら茶道教室を実施しています。最初はお茶請けの菓子を楽しみに参加するそうですが、一年を通して学習・練習することで、しっかりとした正座ができるようになり、年度末には保護者を相手に立派なお茶の点前を発表できるようになるそうです。茶道は抹茶を飲み楽しむ以外にも、お茶をたてる空間を楽しむ、他者を気遣うちよくもてなす作法など、様々な文化が加わって発展してきた

そうです。それらを子どもたちが身につけることは、我慢を覚え、克己心を育て、他人を思いやる心を育むことでしょう。

これらの保育に対する思想は社会福祉法人「新啓会」という名称にも表れているように思えます。「子ども達の未来を啓き、可能性を開発し、正しい知識を育む」ことを目標におき、日々の保育に携わっておられるのでしよう。特別保育事業も積極的に推進し、延長保育、子育て支援センターに加え、リスクを伴うために敬遠されがちな体調不良時保育も行なわれています。保護者のニーズに応え、信頼関係を築き、地域にとって必要不可欠な施設となっているとの印象を強く受けました。



# 埼玉新聞掲載意見広告について

今の保育所最低基準はその名の通り最低の基準であってどんな名目にしてもこれを引き下げることが許されないと思います。現行の最低基準第三条には「厚生労働大臣は、最低基準を常に向上させるように努めるものとする」と定めています。

今ある国庫負担金や市町村の保育の実施責任が曖昧にされ、根本的な待機児解消にはなりません。

新システム案では保護者が自由に選んで直接保育園に入れる仕組みになるとされていますが、実際に希望する保育園に入れるかどうかは園との契約次第となります。自由に選べる仕組みと云っても希望したところに自由に入れる保障は全くありません。

また、幼保一体化で待機児童を減らすといっても全ての園で三歳未満児保育(大半の待機児童)を義務付ける仕組みにはなっていません。保育条件改善に必要な財源も未だに不明確で保障されていません。「全ての子どもに良質な生育環境を保障するための改革」としていますが、今

すぐにでも国が現行の幼・保の制度や子育て支援策を大幅に拡充していけば、混乱もなく充分達成できることです。

※埼玉県議会を含む10数県から新システムや幼保一体化の拙速な導入反対を求める意見書が国に提出されています。県内の市では、熊谷市、上尾市議会などが反対の意見書を出しています。

子育て・保育で株式会社かもうけやすくしていくような制度の改革で日本の未来(子ども)は?

人間の子どもが人間として育っていくには、温もりのある受容と共感にみちた人的環境がベースになくてはならないことは子育て・保育のイロハです。それは親が子を思う心(愛)、無償の愛と同義だと思えます。これまで保育・幼児教育は市町村、

社会福祉法人や学校法人が非営利の事業として担ってきたのはそのためです。

今以上に営利目的の株式会社などが参入しやすくなるようにして、株主配当など利潤追求型の保育を推奨する新システム改革は、子どもの人権尊重や発達保障の観点から到底容認できる

ものではありません。

子どもは、日本の未来そのものです。これからの日本の復興を担っていく子どもたちには、

営利追求競争(市場原理)を活用する制度ではなく、温もりのある保育の原理(生命の原理)で国・自治体、非営利法人が責任をもって保護者と一緒に子育てしていく制度こそが求められていると、私たちは考えます。

そこで埼玉県私立保育園連盟、埼玉県日本保育協会、さいたま市私立保育園協会の連名において、二〇一一年七月二一日、埼玉新聞に左記の意見広告を掲載しました。





## 埼玉県私立保育園連盟新規加入園

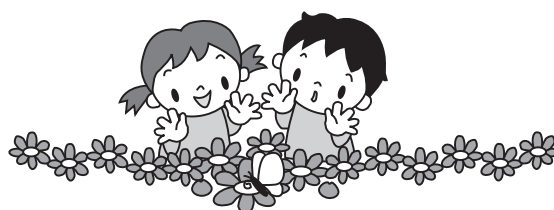
2011年6月末現在

経営主体	園名	園長名	住所	TEL
学校法人 井沢学園	リズム保育園	小泉 敏恵	さいたま市	048-798-3535
社会福祉法人 さやまが丘保育の会	あかねの虹保育園	牧 裕子	所沢市	04-2947-9800
社会福祉法人 彩光会	ころぼっくる第二保育園	長 いづみ	上尾市	048-783-1010
社会福祉法人 片山会	みき保育園	並木 良	新座市	048-480-3622
社会福祉法人 済誠会	こひつじ保育園	高橋 牧男	狭山市	04-2952-2494
社会福祉法人 なでしこ会	第三なでしこ保育園	大谷 光代	熊谷市	048-520-6112
社会福祉法人 あゆみの会	伊佐沼すまいる保育園	浅川 弘子	川越市	049-230-1717

## 新任園長紹介

2011年6月末現在

園名	園長名	住所
椎の実保育園	新井 正治	さいたま市
にじの城保育園	大塚 弘美	さいたま市
もとの木保育園	中嶋 一雄	さいたま市
大宮つぼみ保育園	中嶋 貴子	さいたま市
まどか保育園	山本 覚	さいたま市
くるみ保育園	白根 幸江	熊谷市
市立東所沢保育園	伊藤ひろ子	所沢市
志多見保育園	藤井 彰道	加須市
ふきのとう保育園	桂川 順子	深谷市
さくらんぼ保育園	大島 映子	深谷市
さくら保育園	遠田 えり	深谷市
鷲宮第二保育園	竹下真実子	久喜市



## ◆◆ 編集後記 ◆◆

さて、遅れに遅れた私保連広報No.111号、ようやく発行にこぎつけました。言い訳はいっぱいありますが、ひとえに私の能力不足と言えそうです。ここは責任をとって広報部を辞任したい旨、事務局長に相談したところ、鼻で笑われて却下されました。まだしばらく苦難の道のりが続きそうです。(M・K)

事務局  
 (株)埼玉県私立保育園連盟  
 〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F  
 TEL 048(772)8623 FAX 048(772)8635

## 保育園および園児を さまざまなリスクからサポートします

全私保連  
 保険制度

園児総合保障  
 共済制度

上記以外にも、「学童保育」や「園舎の火災保険」などの、  
 保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(社)全国私立保育園連盟指定・  
 東京海上日動火災保険株式会社代理店

**有限会社ゼンポ**

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
 TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

